

製品名: TRIB2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82786**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	38.8kDa

抗原情報

遺伝子名	TRIB2
別名	C5FW; TRB2; GS3955
遺伝子 ID	28951.0
SwissProt ID	Q92519
免疫原	大腸菌で発現したヒト TRIB2 (AA: 1-200) の精製された組み換え断片。

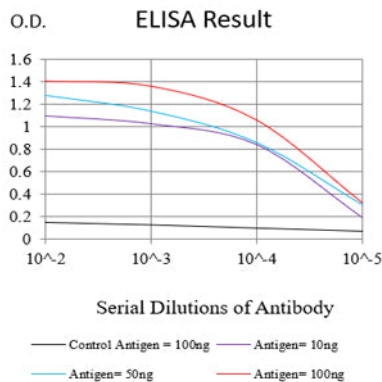
背景

この遺伝子は、トリブルズファミリーの3つのメンバーのうちの1つをコードしています。トリブルズファミリーのメンバーは、タンパク質セリン-スレオニンキナーゼと相同性のある Trb ドメインを共有していますが、活性部位のリジンを欠いており、おそらく触

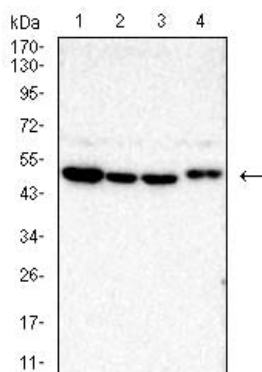
媒機能を欠いています。トリプルズタンパク質は相互作用し、多くの生理学的および病理学的プロセスにおけるシグナル伝達経路の活性を調節します。このトリプルズファミリーのメンバーは、主に造血系細胞のアポトーシスを誘導します。骨髄系 (THP-1) 細胞において炎症刺激によって発現が上昇するタンパク質として同定されているほか、転写因子 C/EBP α (CCAAT/エンハンサー結合タンパク質 α) を不活性化し、急性骨髄性白血病を引き起こすがん遺伝子としても同定されています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]

研究分野

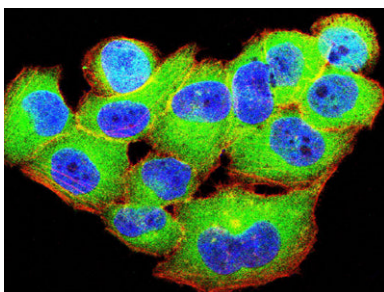
画像データ



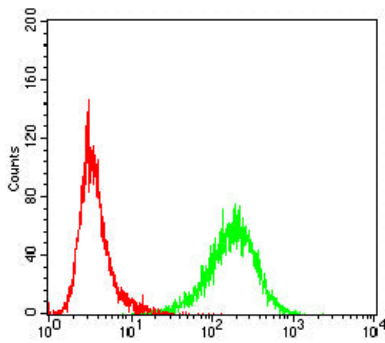
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



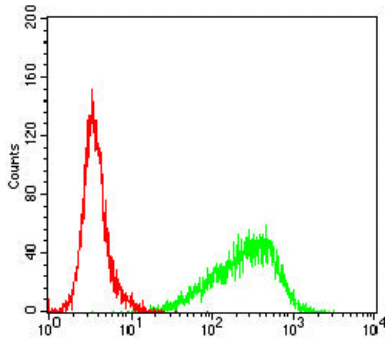
Jurkat (1)、MCF-7 (2)、SW480 (3)、および A375 (4) 細胞溶解物に対する TRIB2 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



TRIB2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TRIB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



TRIB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。